

1月に新型コロナウイルス罹患でお休みを頂きました。8日間の待機期間、半分は寝込んでおり、半分はポーツとした頭を戻す時間という日々でした。その期間でチラッとテレビで見たのが、VRゴーグルをした男性が入り、その世界で過ごしているという映像でした。長いときで週150時間間もその生活をしているそうです。ポーツしながらその時は「へえ」と見ていました。

【ムーンショット目標：2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から開放された社会を実現】決して私が療養期間に妄想していた訳ではなく、内閣府公式のホームページにも載っているものです。映画や漫画などの世界が、すくそびに來ていることを感じさせられます。2050年は27年後、その世界はどうなっているのでしょうか。少なくとも今、保育園に通う子どもたちはまさに働き盛りといった年齢になっています。もしかするとこの計画の担い手かもしれない。

常々、A-1に仕事を奪われる論争が起きていますが、これからの仕事は思いもよらぬものなのだろうと漠然と考えています。未来の仕事はこの子たちが作っていくのかもしれない。これからどんな未来が待っているか、人生の根っこがしっかりと大地に張ってあれば、倒れることはないのだと信じていくしかありません。三つ子の魂百まで、私たちが関われる間は「たくましく 大地に根をはれ ふたばっこ」の理念をしっかりと持ち、未来を担う子どもたちの後押しをしていきます。そして、大人って大変だけど、なかなか良いものだよと我々の姿から感じてもらえるように、私も努力します。

園長 梶原 秀一

今月の予定

牛久市幼児教育指導員の先生方による

「おはなし会」 2/1 (水) 14:00~ 幼い頃に読んだ絵本は大きくなっても心のどこかに残っているような気がします。様々なお話に触れる良い機会を頂いています。



豆まき 2/3 (金) 豆まきを通して、自分の心の中にある鬼も退治できると良いですね。おにはそと一、ふくはうち一！ ※2/1 (水) 9時50分頃からクラスごとの写真撮影をおこないますのでご存知おきください。

全園児集合写真撮影

2/6 (月) 10:00~ 園児全員での集合写真撮影をおこないます。そして園庭で航空写真も予定しています。例年は小型飛行機が撮影してくれるのですが、今回はドローンですって！



カレーライスの日

2/7 (火) これこそ、デジタルで感じるの難しい五感を通した体験！今回は無事におこなうことができますように…。

Imasan工房様による人形劇観劇

2/9 (木) 10:00~ コミカルで見応えのある人形劇を観劇します。楽しい時間になりますように！ ※今回の出演料は保護者会費から出させていただきます。子どもたちのためにありがとうございます。



交通安全教室

2/14 (火) 今回はシートベルトの大切さを教えていただきます。手作りの教材は色々な工夫がしてあり、子どもたちも楽しんで学んでいますよ。



おべんとうデー

2/15 (水) 子どもたちが大好きなお弁当の日です。月に一度とはいえ大変かと思えます。ご協力本当にありがとうございます。



誕生会

2/22 (水) みんなでみんなをお祝いする雰囲気子どもたちに浸透してきたようです。お祝いする気持ちも育てていきたいですね。

ランランフェスティバル (発表会)

2/25 (土) 2~5歳児参加 子どもの生活が表れるもの全てが表現です。この日は各学年の表現を観ていただければと思います。詳細は別紙をご覧ください。

★たびだちの日 (卒園式)

3月26日 (日) 10:00~ 卒園のセレモニーを執り行います。年長児、年長保護者の方のご参加となります。詳細は後日お伝えいたします。

★3月の保育参観の日程

- 7日 (火) きりんグループ
8日 (水) にじぐみ かえるグループ
9日 (木) ひかりぐみ ひよこぐるーぷ
10日 (金) ぞうグループ
以上の日程で計画しております。時間は9:30~11:00とする予定です。詳細は後日配布する手紙をご覧ください。

お知らせ・お願い

★お迎え後は速やかな

降園にご協力ください。最近、お迎えの後、ホールや廊下で遊んでいるお子さんの姿が目立つようです。園の駐車スペースは限られた台数しか停めることができません。お迎えの後、次に駐車場を利用したい方がいることを考慮し、速やかな降園をお願いいたします。

- ◎保育補助 内田 愛 先生のお腹に赤ちゃんがいますよ。6月に誕生の予定です！
◎1月16日から保育補助として吉岡 茉耶 (よしおか まや) 先生が勤務しています。よろしくお願いします！

幼児理解

：子どもの心を知ること

子どもと一緒に生活して、大事にしているのは、子どもの気持ちを理解することだが、これが一番難しい。日々悩み、考える。昔、父母の会の研修会で、〇〇研究会の講師(?)が、「赤ちゃんが泣き止まないの、哺乳瓶を渡すと泣き止んだ。しかし、ミルクは飲もうとしない。哺乳瓶を取ると、又泣き出した。渡すと泣き止んだ。」そこまで話し、急に私に「園長先生、どうしてかわかりますか?」と質問された。私は、「研究団体と話が、いかがわしいので、後方に座って、外の子どもを聞いていたの、急の質問にドギマギした。その場にいたわけでもないのに、分かるわけない。すると「赤ちゃんは、瓶の動物の絵が気に入っていたのです。」と自慢げに言った。口のきけない赤ちゃんが、そう言ったわけでもない。本当のことは分からないはずだ。瓶を持たなかったかもしれない。大体、それが分かったと言つて、何の意味もない。「それがどうした」と言いたかった。私は赤ちゃんの心が分かる、と言いたかっただけなのか。▼先生方の研修会で、参加者の一人が「いつも、園に來ると、誰とも遊ぼうとせず、園庭の端で、一日中、砂いじりして、いくら声を掛けても一緒に遊ぼうとしない子がいるのですが、どうしたらいいでしょう」と質問した。すると講師は「そういう子は、見て参加しているので、大丈夫です。そのうち参加してきますから。」と言った。

そのうち参加してくるのは確かだが、うつむいて、下ばかり見て、指先で砂をいじっている子が、どうして「見て」「参加」していると言えるのかと思つた。優しいお母さんから離れ、誰も知らない中に放り込まれ、不安で、心細く、下ばかり見て、砂いじりしかできないのかもしれない。「良く分からないけれど、私は君の味方だよ、安心しな、絶対に守つてやる。君のこと大好きだよ、君と一緒に遊びたい。」と寄り添うことが大切だと思う。▼幼児教育・保育で大切なことは、幼児理解と全面的受容である。幼児理解と言っても、完全に理解することはできない。しかし、幼児に寄り添い、思い続けること、心を寄せることが大切である。相手を思っていると、相手に通じるものである。人間は心が通じ合う動物である。全面的受容と言つても、全て認めるというわけ入れ、理解に努めることである。▼テレビの中の心理学者は、さも分かり切っているが如く、確信的に、「人間は〇〇だから、〇〇なのです。」と断言する。しかし、日本の心理学の第一人者、河合隼雄先生は、人の心のうちを聞かれると、「難しいおまんなん」と言つて考え込む。「人の心はなかなかかわかんません。」と言つて考え込む。大先生は「そんなに簡単に人間の心は分かりませんよ」と言っているのだ。私達にできることは、人の心を読み、考え、理解に努めることだ。

理事長 浅田 精利